



岩五だより



江戸川区立小岩第五中学校
令和8年度 学校だより
～ 9月号 ～
令和8年 9月 8日発行

～二学期が始まりました～

校長 前本 大智

夏の盛りを越え、校庭の木々がやや秋の装いになりつつあります。

朝夕の風には涼しさが少し混じり、季節の移ろいが静かに感じられる頃となりました。

9月1日（火）、小岩五中にも生徒たちの活気が戻り、無事に新学期をスタートすることができました。こうやって、無事に生徒たちが新学期をスタートできますのも、夏休み中、ご家庭や地域でのご理解・ご協力があったからだと思います。ありがとうございました。

この夏、日本だけではなく、世界でも大変な自然災害が相次ぎました。

熊本での地震、千葉や北陸地方を襲った豪雨災害、ネパールと中国の国境地帯で起きた土石流災害、突然の揺れや激しい雨、濁流が人々の暮らしを脅かし、多くの尊い命も奪われました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

災害は、いつどこで自分の身に降りかかるかわかりません。

「自分には関係ない」ではなく、「明日は自分の地域かもしれない」という感覚を持つことが、防災意識を高める第一歩です。

本校でも避難訓練内容の見直し、非常時の連絡体制の強化、備蓄品の点検と使用方法など、具体的かつ実践的な取り組みを進めています。

生徒の皆さんには、日頃から身の回りの安全に目を向け、いざという時に自分と周囲を守る行動を身につけてほしいと願っています。いざという時、使える訓練を心がけていきましょう。

會津磐梯林間学校を終えて

自然豊かな會津磐梯での林間学校は、2年生にとって、夏の大きな思い出となったことでしょう。雨に悩まされましたが、仲間と協力して行った飯盒炊飯やカレー作りでは、火を起こす難しさ、食材を切るごちなさ、煙たくて顔をそむけた瞬間の表情などどれも思い出されます。自分たちの手で作った温かい食事は、普段よりもずっとおいしく感じられたことでしょう。自然の中で過ごす時間は、便利

さに慣れた日常を見つめ直し、仲間と力を合わせる大切さを教えてくれました。
今回の経験から得た思い出の一つひとつを忘れず、学校生活に生かしてください。

ここには林間学校の写真が載っています。

修学旅行（関西方面）に向けて

いよいよ修学旅行が近づいてきました。

奈良・京都の地を歩けば、教科書で学んだ歴史が、目の前の風景として立ち上がってきます。

法隆寺の伽藍の歴史、東大寺大仏の大きさ、清水の舞台からの絶景等々、古（いにしえ）の人々が何を願い、どのように生きたのかを想像しながら見学することで、歴史の深さを肌で感じるものになります。そして、

この修学旅行を終えると、3年生は進路を考える時期になります。

自分の未来を形づくるヒントを、この旅の中で見つけられるかもしれません。



全校の皆さんにとっては、月末に、中間考査が控えています。

夏休み明けのこの時期に行われる試験は、学習のリズムを整え、これからの学びの土台を固める大切な機会です。結果だけにとらわれるのではなく、今の自分の理解度を確かめ、冷静にできている所とできていない所の見極めをしていくことが大切です。今の自分から次の自分につなげていくためのポイントとなります。



また、次の世代に交代していく、生徒会選挙も始まります。

学校をより良くするために声を上げ、行動する場です。

立候補する人も、投票する人も、貴重な経験となります。

立候補した人の思いに耳を傾け、真摯に受け止める心のある選挙にしましょう。



夏から秋へと静かに季節が移り変わっています。秋雨前線や台風の影響もあり、長雨になってはいませんが、空の高さ、風の少しの心地良さ、夕暮れ時の美しさ、変わりゆく季節の中で、新学期、皆さん一人ひとりが新たな気持ちで自分と向き合い、充実した日々を過ごしてくれることを願っています。